

レジメン名	診療科
DPd	血液内科

適応疾患
再発/難治性の 多発性骨髄腫

1クール	28日間
総クール	奏効中継続
休薬期間	6日間

	投与量 (mg/m ²)	投与日 (d1~d5、d1、d8等で記入)
ダラツムマブ	1800mg/body	d1, 8, 15, 22 (1~2クール) d1, 15 (3~6クール) d1 (7クール以降)

内服併用薬	投与量 (mg/日)	用法	投与日 (d1~d5, d1, d8等)
ポマリスト	4mg	分1寝る前	d1-21
レナデックス	40mg	ダラキューロ 投与60分前	d1, 8, 15, 22 (1~2クール) d1, 15 (3~6クール) d1 (7クール以降)
レナデックス	40mg	分1~2	d8, 22 (3~6クール), d8, 15, 22 (7クール以降)
アセトアミノフェン	900mg	ダラキューロ投与 60分前	d1, 8, 15, 22 (1~2クール) d1, 15 (3~6クール) d1 (7クール以降)
ポララミン	4mg		

処方 (輸液・プレメジ・ポストメジを含む)

番号	薬剤名・用量 (mg/m ²)	投与方法	投与速度	投与日 (d1~5等)
①	ダラキューロ 1800mg/body	SC	3-5分	d1, 8, 15, 22 (1~2クール) d1, 15 (3~6クール) d1 (7クール以降)

備考 (減量・中止の基準を記載してください)

- 慢性閉塞性肺疾患もしくは気管支喘息の既往歴のある患者には
気管支拡張薬及び吸入ステロイド薬の投与を考慮すること
- 必要に応じてDay1にモンテルカスト10mg、またはその同等品を経口投与すること
- 75歳を超える高齢者の患者にはデキサメタゾン20mg/週で投与可
- レブラミドはCCrが30~50mL/minの患者には10mg/日をd1-21まで経口投与すること。